

第55号

2020年9月発行

【発行元】
港区芝地区総合支所協働推進課
発行部数30,750部



地区 芝地域情報誌



『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、さまざまな行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。



煌めく芝地区

東京タワーのライトアップ

コロナ禍の夜、芝地区内の道路や公園など10数カ所の地上から、夜空を飾る東京タワーのいろいろなライトアップを手持ちのスマートフォンで撮影しました。

● 医療従事者への感謝と敬意のメッセージ



● 浜松町の歩道橋から

● パークタワー北高台芝生から



● パークタワー入口



● 三田1丁目交差点(山の日)



● 区立芝公園



● 日比谷通り旧台徳院霊廟惣門を前景に



● 増上寺三解脱門北の熊野神社脇通り



● タワー北側金地院前から(こどもの日)



● 都立芝公園(御成門)



● タワー南側駐輪場から

写真・文：米原 剛

Licensed by TOKYO TOWER

ライトアップの予定は <https://www.tokyotower.co.jp/lightup/index.php> 参照

芝地区総合支所 公式SNS 始めました!



Twitter
@shiba_minato



Instagram
@minato_shiba_official



アカウント名：港区芝地区総合支所

芝地区のイベントや地域のできごと、防災や環境美化など幅広い話題をお届けします。フォローお待ちしております!



Follow me!

港区立みなと科学館

Minato Science Museum

令和2年
6月15日
OPEN!

みなと科学館はどこにあるの？

みなと科学館は、地下鉄神谷町駅から虎ノ門ヒルズ駅に向かう桜田通りを一歩入った所にある、地上14階建ての気象庁の新しいビルの1～2階に設置されています。



明るいガラス張りの科学館入口

区民の科学への関心を高め、さらに教養の向上、主体的な学び意欲の増進に寄与することを目的として、区立鞆絵小学校(明治3年(1870)に設立された日本最古の小学校。平成3年(1991)に120年の歴史に幕を降ろして閉校)の跡地に設立されました。



鞆絵小学校跡地の記念碑

都市機能が集積する区の特性を生かし、そこに生活する人々が「身の周りへの興味関心」を持ち、それを「科学の視点で」捉えることにより新たな発見に出会い、また、「多様な視点で物事を捉え、主体的に学ぶ姿勢や態度を育ててほしい」という思いで作られています。



区内小・中学生の350点以上の応募作品から選ばれたロゴマーク

1階の展示コーナーをのぞいてみましょう

1階の正面にある常設展示コーナーでは「しぜん」「まち」「うみ」「わたし」の各コーナーが設けられています。中央にある「みなと・クエストMap」では、デジタルマップモードや自ら探せるリサーチモードなどの体験をしながら楽しく学べる展示があります。

実験室ではサイエンスショーやワークショップも開催。未就学児から大人のための科学講座などの開催も予定されています。



1階常設展示の様子

プラネタリウムで、美しい星空を鑑賞しましょう

2階には、「光学式投影機・オルフェウス」と「4Kデジタル式全天周映像システム」が設置された121席あるプラネタリウムホールがあります。800万個を超える美しい星空は臨場感あふれ、季節ごとの星座や旬の話題も満載です。個性豊かな解説員のお話にも聞き入ってしまい、あっという間に時間が過ぎてしまいます。

今後は平日お昼休みの無料投影や「星空ヨガ」も開催予定です。



ドーム直径15mのプラネタリウム

気象科学館へ足を運びましょう



気象庁のマスコットキャラクター「はれるん」

プラネタリウムの隣にある「気象科学館」では、気象庁のマスコットキャラクター「はれるん」がお出迎え。気象予報士の方が丁寧な説明をしてくださり、日本の複雑で変化に富んだ気象について楽しく学ぶことができます。

取材日は新型コロナウイルス感染防止対策のため、入場は予約制でしたが、今後ワークショップやサイエンスショーも徐々に充実させていく予定です。

都会の真ん中で、バーチャルとはいえ、自然と触れ合える絶好の施設。今はコロナ禍で開館時間などが変動的になっていますので、ホームページや電話でご確認後ご予約のうえ、お出かけください。

取材・文：伊藤早苗 写真：巻島大樹
●画像提供：港区立みなと科学館

Information

港区立みなと科学館 虎ノ門 3-6-9 TEL 03-6381-5041 <https://minato-kagaku.tokyo/>



これまでも、そしてこれからも、 “まちのかかりつけ薬局”として、 地域の皆さまの役に立ちたい

有限会社 清水薬局

芝大門の交差点の近くに、創業100年を超える老舗の薬局があります。それが芝大門に店を構える清水薬局です。

もとは近江国(現在の滋賀県)で商売を始め、その後、江戸に上りました。正徳3年(1713)頃には、宇田川町(現在の浜松町一丁目)あたりで両替商を営んでおり、代々「近江屋作兵衛」を名乗っていました。その頃から数えると、300年もの間、芝のまちで商いを営んでいることになります。

初代近江屋作兵衛から数えて11代目の当主となる、清水治さんと妻の晴子さんにお話を伺いました。

東南アジアなどにも 輸出した「乙女肌」

両替商から薬局に商売替えしたのは、明治時代の初め、7代目清水作兵衛と妻・かねのときのことでした。当時は清水薬舗といい、清水薬局と名乗ったのは、明治18年(1885)頃のことです。そして、35年前に現在の場所に引っ越してきました。

開業当時、製造・販売していたのは、基礎化粧品「乙女肌」。いわゆる軟膏で、すべて手作り。中国や朝鮮半島、東南アジアまで輸出していたそうです。その頃、記念品として配られていた風呂敷が今もきれいな状態で残っています。清水薬局の歴史を語る多くの資料は、関東大震災や太平洋戦争で失われてしまいましたが、今も大切に保管されている品々からは、当時のお店の光景が目に見えます。

“まちの薬局”として、 いち早く地域に貢献

戦後の清水薬局は、焼け跡から再建して地域住民の病気やケガ、介護の相談などを受ける“まちの薬局”として、地域に根ざした医療を提供してきました。また、昭和33年(1958)に「学校保健安全法」が施行されて以降、曾祖父清水幸助から代々「学校薬剤師」として、旧桜川小学校、御成門小学校、御成門中学校の環境衛生の維持管理や、健康相談、保健指導に従事して、地域の児童・生徒の健康・安全を支えています。そして区から「区政功労者」として代々表彰され、令和元年度は妻・晴子さんも表彰されました。



「乙女肌」の記念品として、お客さまに配布していたという風呂敷。疎開していたので奇跡的に残ったそう。中央に「乙女肌」の文字が見える



「乙女肌」を旧満州国に輸出したときの許可証

また、平成12年(2000)に「介護保険制度」が創設された当時、治さんは港区薬剤師会の代表として、区内の制度整備に関わりました。その成果に



治さんと晴子さん、そして後を継がれる2人の息子さん



清水 治さん

よって、区ではいち早く「居宅介護支援事業」を立ち上げることができました。清水薬局は現在、「居宅介護支援事業所」として、地域住民が安心して豊かな自立した生活を送るための介護支援にも取り組んでいます。

これからもずっと 近所の方の役に立ちたい

「先代の清水進は、『“老舗”とは身の丈に合った商売をして、地域に信頼され続け、欲を出して他人の商売を侵すことをしないものだ』とよく言っていました。清水薬局が明治から続けてこれたのは、薬剤師という職務に誠実に、近所の人のお役に立ちたいという思いで働いてきたからだと思います。今は、あちらこちらにコンビニも兼ねたドラッグストアや、大きな調剤薬局もあって、“まちの薬局”としての経営は決して楽ではありません。でも2人の息子が『薬剤師になりたい』と言ってくれたことは、これまで努力して老舗を守ってきた、先代や当主の背中を見てくれたのだという大きな喜びです」と治さん。医療や介護で困ったことがあれば、何でも相談に乗ってほしい。清水薬局はこれからも地域の皆さまの心強い味方でいてくれることでしょう。

取材・文：菊池 弓可

Information

清水薬局
芝大門 2-3-15 TEL 03-3431-0877
営業時間：月・火・木・金 9:00～20:00
水 9:00～19:00
土 9:30～15:00
定休日：日・祝祭日



大正12年(1923)頃の店舗の様子



当時、薬を入れていた木箱



店の看板のように使われていたと思われる布。半分しか残っていないが、「乙女肌」の文字が見える



江戸時代は紙が貴重だったことから、たとう紙を再利用して帳簿にしていたという。創業当時の屋号は「久」。写真左の中央にも、曲尺と「久」の字を組み合わせた記号が書かれている



New Normal時代のすすめ「街と生きる」

人と街をつなぐ みんなの地図



「地域と暮らす」

令和2年(2020)春、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として緊急事態宣言がなされ、私たちはNew Normal(ニューノーマル)という、新しい常識、避けられない変化を余儀なくされました。外出自粛やテレワークにより、家で過ごすことが増え、人々は地域の飲食店のお弁当をテイクアウトしたり、近所を散歩したりという、身近な街にも生活の楽しみを見出すようになり、仕事場から帰って休息をとるだけの“住んでいた街”から、“暮らす街”に目を向けるようになりました。これも一つのNew Normalといえるのではないのでしょうか。

今、私たちは街で暮らす生き方を改めて考える時代になったように思います。そんな生き方のヒントを与えてくれるツールを作っている人たちがいます。

街を身近に感じ、つながるきっかけになる「みんなの地図」

プロジェクト「みんなの地図」を5人で立ち上げた「第7期ご近所イノベータ*」の久松知博さんと、本間順子さんにお話を伺いました。「みんなの地図」とはどのようなものなのでしょうか。

「地図はシンプルに目的地にたどり着くときに使うものです。でも、この『みんなの地図』は、街で暮

※ご近所イノベータ：慶應義塾大学と芝地区総合支所の連携で開講する「ご近所イノベータ養成講座」は、次世代の街の担い手を育てようと平成25年(2013)に始まった実践型講座。年に一度、受講者を募集。「自分のやりたいことを街につなげる」スキルを学び、修了後も各々仕事とご近所イノベータ活動を両立させながら、地域の(人財)となるように活動しています。



らしている”実感が持て、街に住んでいる人を感じられるような、どこにもない地図にしたかったんです」と発案者の久松さん。

地図を見ると、芝地区にある、地元の店やコミュニティスペース、子どもの自転車の練習にぴったりの公園など、まさに、既存の地図には載っていないような地域に密着した情報や住んでいる人の思いが載っています。

この地図ができたエピソードを伺いました。久松さんにお子さんが生まれた平成30年(2018)、奥さまは育児で家に閉じこもりがちになりました。そんなとき「子どもと遊べる場所を知りたい、街の魅力や安心できる情報が載っていれば、妻も出かけられるかもしれない」と思ったのがきっかけです。

青果店やコミュニティスペースなどにも置いてもらい、インターネットを利用していない人でも、気軽に手に取って、街とつながるように紙の印刷にこだわった地図。情報はネットのアンケート、SNSを使い、自ら街を散歩して、地域の魅力を発

見しながら収集しました。掲載したいお店には何度も通って取材交渉をしました。こうしたコミュニケーションは、街の人々と知り合える機会にもなり、街に顔見知りもできるようになりました。そうして、地図が完成したのは令和元年(2019)11月です。

私も「みんなの地図」を手に取って、街を歩いてみました。「①元祖SNS!? 町の掲示板」の前に立ち止まり、ゆっくり掲示物を確認。街のあちこちでウイルス対策が行われ、飲食店は営業時間短縮や料理のテイクアウトなど、新たな営みを試みていました。自分が暮らす街で、社会の状況に応じ、人々はさまざまな取り組みをしていることを再発見。街は常に生きていて、私を含め、暮らしている人々も、新しい未来へ向かって歩み続けていると感じました。

明日へ向かって

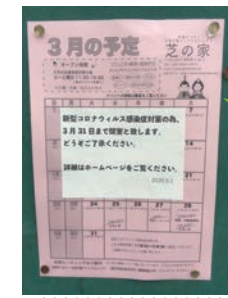
「住んでいるけど暮らしていない人」が、街につながるきっかけとなる「みんなの地図」。これからどのような活動をしていくのでしょうか。メンバーの本間さんは、SNSによる情報収集・発信を続けており、「ご近所イノベータ」事務局スタッフとしても活躍されています。久松さんも、地図に載せたい情報を随時募集していて、今後も地図を置いてくれる店を探していくと、意気込みを語ってくれました。

遠出があまりできない今こそ、New Normalな明日へ向かって歩み続ける力、自分の暮らしている街とのつながりを探るチャンスなのかもしれません。

取材・文：早川由紀

芝の家・ちゃぶ台日誌 秋編

どなたでも自由に入出りできる「まちの交流拠点」芝の家。日々近所の方から遠方の方まで、年代も0歳～学生～シニア世代の方まで、多種多様な方が立ち寄ります。



新型コロナウイルスの影響で、3月から長い間お休みに入りました。初めての経験で、状況も日々変化していく中「来場者の方達と会えない間、芝の家は何をしたらいいの?」みんなで考えて過ごしていました。



閉室中でも何かできることはないかと、オンラインのイベントを開催したり、Instagramを始めました。Instagramはこれからも日々更新していきますので楽しみにしてくださいね。



閉室中も、お散歩途中の様子を見に立ち寄ってくださった方や、芝の家が心配で電話をくださった方がいらしたことを後から知りました。そしてお花のお水は近所の皆さんがあげてくれました。温かく見守っていただき、皆さまには本当に感謝しています。



立ち寄りだけでも楽しくなるように、玄関に本棚を移し、本の貸し出しを始めました。

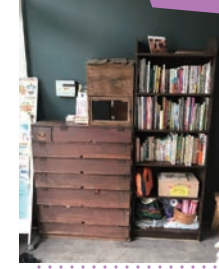
縁側では、「ご自由にボックス」と「お互い様掲示板」を再開しました。すぐきな物がみつかるかもしれないので、ぜひのぞいてみてください。



7月から開室することができましたが、安心、安全な場所としてオープンできるように、いろいろな工夫をしています。現在は縁側や玄関を中心に、「密」を避ける工夫をしています。



お休みの間に、今は空き地となっている旧芝の家の跡地で咲いていたお花。救出してプランターに植え替えました。



ご近所の方が、七夕の飾りができるように、と笹をくださいました。立ち寄ってくださった皆さんがそれぞれに願いを書いていられました。



Information

芝の家 芝3-26-8 TEL 03-3453-0474
開室日時：火～土曜日(日・月曜日、祝日はお休みです)
<http://www.shibanoie.net/>

開室時間は新型コロナウイルスの状況を見て、検討しながら決めております。詳細はホームページでご確認ください。

文：芝の家・芝地区総合支所協働推進課

芝 de Meet The Art

(トランスボックスアート)

芝地区総合支所が独自に実施している全国的にも珍しい取組です

絵画や彫刻などの作品を道路沿いに展示するためには、道路法や景観条例などの各種規制があります。芝地区総合支所では、これら公法上の規制をクリアした上で、区内在住・在勤・在学者から募集した作品を屋外トランスボックス(地上配電機器)に展示する、全国的にも珍しい取組を行っています。

展示箇所を15カ所まで順次拡大します

このトランスボックスアート事業は、平成30年度に開始し、現在6基のトランスボックスに障害者週間記念事業ポスター展の最優秀賞、優秀賞の作品を展示しています。今後、令和4年度までに、展示箇所を15カ所まで順次増やしていく予定です。なお、作品は5年間続けて展示します。

アートが身近に感じられる芝地区ならではの地域共生社会を目指します

このトランスボックスアート事業が多くの人の関心を集め、展示作品に応募していただく動機となる効果も期待しています。この取組を継続することにより、地域住民はもとより、街を訪れる方々にも地域の心の豊かさを感じていただき、誰もが安心して活動できる共生社会への関心と理解を持っていただきたいと思います。



芝地区の街並みを彩るトランスボックスアートを、ぜひご覧ください!



9月29日から関東エリアのNewDaysで数量限定 発売開始!

サラリーマンの聖地「新橋」初の地ビール! 新橋SLビール HAZY IPA

待望の缶で9/29から発売開始!

サラリーマンの聖地「新橋」の象徴となるビールを作り、「新橋地域を元気にしたい!」というコンセプトから2019年秋に誕生した「新橋SLビール(瓶)」が、お求めやすい待望の缶で9/29から発売開始! 瓶同様に缶のコンセプトも東日本大震災復興支援の側面もあり、原料の一部に新橋と縁の深い、福島県いわき市のお米「Iwaki Laiki」を使用しています。「記憶に残る新橋の味」を手軽に楽しめます!

ヘイジー【HAZY IPA】米産産ホップ「モザイク」「シトラ」を贅沢に使用。マンゴー、ピーチ、パッションフルーツ風の香りが特徴で、さっぱりとした甘みがあり、舌を控えた女性にも飲みやすい味! 製造するのは、富士山をのぞむ御殿場DHCビール工場。「いい水が、ビールのうまさを決める。」方針のもと、この地に湧き出る清らかな水、富士山の伏流水を100%使用しています。



ビールラベルの背面には昨年発売した新橋SLビール(瓶)同様「港区シティプロモーションシンボルマーク」が入っています。港区の魅力やブランドを国内外に広く発信する企業や団体などが使用を認められているものです。

Design & © by Tatsunoko Production



芝地区のいきいきプラザでは現在、喫茶スペース(一部メニューを提供)、敬老・娯楽教養室、トレーニングルームに定員数を設けるなど、3密にならないよう対策を行い、再開しています。

取材・文・写真：米原 剛

■ 喫茶スペース

喫茶スペースは飲み物類、軽食類、スイーツなどが販売されており、一部メニューはまだ提供がないものの、安心して利用できるスペースも確保されています。



■ 各種教室

各種教室も7月より順次再開しており、文化系の教室は対面から講義形式に変更したり、運動系の教室は低負荷の運動プログラムにしたりするなど、工夫しています。



9月から、とらトピアで始まった新教室 肩腰すっきりエクササイズ

- 日程：毎月第2、4金曜日 18:00～19:00
- 内容：肩こりや腰痛を予防改善するための体操を、楽しく無理なく行う教室です。

★9月現在、3館で再開をしている教室は、カラオケ、英会話、書道、俳句、絵手紙、囲碁、ヨガ、アロマなどです。

■ 受付

受付はビニールシートを掛け、感染予防として飛沫を防ぎ、安心して職員と会話ができます。



■ 敬老・娯楽教養室

敬老・娯楽教養室は一人ひとりの間隔を十分に開けて、ソーシャルディスタンスが取れています。また、マッサージ機も間に余裕をもたせてあります。



■ トレーニングルーム

トレーニングルームは、以前よりもマシンの間が広がっており、ランニングマシンもパーテーションや間引きにより間隔を保って、一人ひとりのスペースが広く利用できるようにしてあります。ストレッチスペースは特にゆとりがあります。



Information

芝地区のいきいきプラザ3館では生活様式が変わる中で、利用やサービスも変化しています。各施設では状況に対応した実施スケジュールを立てていますので、詳細はご遠慮なく各館にお問い合わせください。体調を確認した上で参加しましょう。



<https://shiba-ikiiki.com/>

■ 三田いきいきプラザ

芝4-1-17 TEL 03-3452-9421

■ 神明いきいきプラザ(プラザ神明)

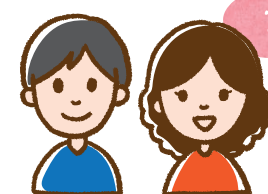
浜松町1-6-7 TEL 03-3436-2500

■ 虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア)

虎ノ門1-21-10 TEL 03-3539-2941



●写真・資料提供:百葉の会・東急コミュニティー共同事業体



こんにちは

みなと障がい者福祉事業団です

第2回

福祉売店「はなみずき」

港区福祉売店「はなみずき」は、平成16年(2004)5月に、区役所1階にオープンし、区内の福祉事業所などで製作された物品を販売しています。みなと障がい者福祉事業団が区から委託を受けて運営しています。現在、障害者が接客・販売業務を通して小売業の知識や、パソコンでのデータ入力など就職に必要な知識を身につけ、それぞれの適性に合った企業への就労をサポートしています。また、販売や接客を通して多くの方々との交流し、障害者福祉の啓発と互いに支え合う地域づくりを目指しています。

●<1日の流れ> 午後1時に、午前・午後の担当者が交代します。

訓練時間	訓練内容
午前9:15～午後1:00	開店準備、月計表作成、庁舎外花壇水やり、接客、販売
午後1:00～午後4:45	接客、販売、在庫管理チェック、閉店・片付け

*営業時間:月～金(祝日・年末年始を除く)午前9:30～午後4:30

●売店で販売している主な商品を紹介します。

製作した福祉施設	主な商品
みなとワークアクティ	マドレーヌ、スノーボール ほか
西麻布作業所	ひのきブロック、シュシュほか、小物
風の子会	紙漉きハガキ、ビーズ製品
工房ラビール	クッキー、さをり織り製品(マスクほか)
みなと工房	ハンドタオル、名刺印刷
新橋はつつ太陽	お守り袋、布製マグネット
たいらか	カレンダー、ポストカード ほか
レダクラフト	マスク、フラッグバッグ
アブローズ南青山	ブリザーブドフラワーの雑貨 ほか
農園そらり (株式会社電通の特例子会社の事業所)	生野菜(季節による)



Information

- 福祉売店「はなみずき」 芝公園 1-5-25 TEL&FAX: 03-3578-4041
- 高輪売店「ろぜはーと」 高輪 1-16-25 高輪地区総合支所1階ロビー TEL: 070-6661-1891

次号(12月号)では、都営地下鉄大門駅のパン販売店舗「トリア」をご紹介します。

高輪売店「ろぜはーと」

高輪売店「ろぜはーと」は、平成22年(2010)6月に、高輪地区総合支所1階ロビーにオープンし、「はなみずき」と同様に、みなと障がい者福祉事業団が区から委託を受けて、区内の福祉事業所などで製作された物品を販売しています。現在、障害者が、接客・販売業務を行っています。「ろぜはーと」は、ワゴンで販売している小さな売店ですが、真心を込めて販売しております。多くの方々との出会いから、笑顔をいただく中で、スタッフ一同希望をいただいております。皆さまのお越しをお待ちしております。

●<1日の流れ> 午後1時に、午前・午後の担当者が交代します。

訓練時間	訓練内容
午前9:30～午後1:00	開店準備、月計表作成、接客、販売、その他業務
午後1:00～午後4:30	接客、販売、在庫管理チェック、閉店・片付け、その他業務

*営業時間:月～金(祝日・年末年始を除く)午前10:00～午後4:00

●売店で販売している主な商品を紹介します。

製作した福祉施設	主な商品
みなとワークアクティ	マドレーヌ、スノーボール ほか
工房ラビール	クッキー、さをり織り製品(マスクほか)
レダクラフト	マスク



福祉売店「はなみずき」、「ろぜはーと」利用の流れ

「はなみずき」、「ろぜはーと」は、就職するための訓練を行う場です。事業団では、求職活動のサポートを行い、就職後(定着後)も障害者の皆さまの「働く」をサポートしていきます。まずはご相談(お電話)ください。訓練の様子をご見学いただき、職場実習を経て、ご希望に応じて利用開始となります。ご連絡をお待ちしております。

港都税事務所からのお知らせ

9月は、固定資産税・都市計画税 第2期分の納期です(23区内)

9月30日(水)までに、6月にお送りした納付書でお納めください。口座振替、金融機関・郵便局のペイジー対応のATM、インターネットバンキングやモバイルバンキング、パソコン・スマートフォンなどからクレジットカードでも納付できます。さらに、6月よりスマートフォン決済アプリでも納付できるようになりましたので、ぜひご利用ください。詳細は、主税局ホームページをご確認ください。

都税における納税証明書は、 すべての都税事務所・都税支所・支庁で 申請できます

納税証明書はすべての都税事務所・都税支所・支庁で申請できます。ただし、申告・納付後1～2週間以内に納税証明書を申請する場合は、①領収証書の原本(領収印のあるもの) ②申告書の控え(受付印のあるもの)(※②は申告税目のみ)の両方をお近くの都税事務所などの窓口までお持ちください。

都税がスマートフォン決済アプリで 納付できるようになりました

令和2年(2020)6月1日から、都税がスマートフォン決済アプリで納付できるようになりました。アプリ内で納付書のバーコードを読み取るだけで、いつでも、どこでも納付できます。詳細は、主税局ホームページをご確認ください。

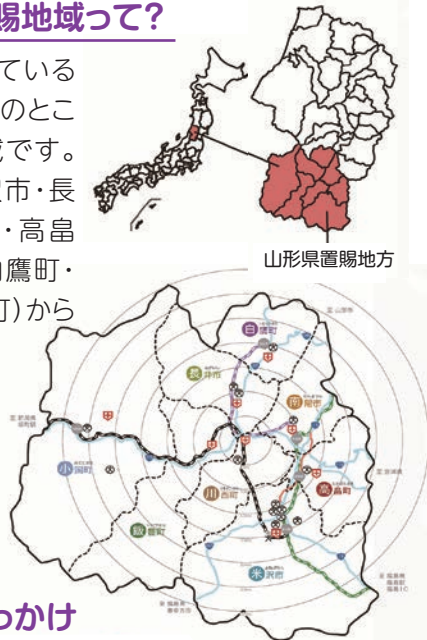
- 問い合わせ先
港都税事務所 03-5549-3800(代表)

山形県置賜地域 × 港区 おきたま × みなと開港プロジェクト

港区では「港区と全国各地域の自治体がともに成長・発展し、共存共栄を図る」ことを目的に、全国各地域とあらゆる分野で交流・連携を進めています。令和元年度から港区と山形県置賜地域との連携をスタートしました。

山形県置賜地域って？

顔の形をしている山形県のひげのところが置賜地域です。3市5町(米沢市・長井市・南陽市・高畠町・川西町・白鷹町・飯豊町・小国町)からなる圏域を置賜地域と呼びます。



交流の場づくりを紹介し、その「まち」「地域」「ひと」に出会うイベントです。芝地区の会場で置賜地域に触れながら、24時間の語り明かし・食べ明かしを通して、置賜に暮らし、その土地や個性を生かしたユニークな活動をされている方とともに「自分らしい暮らしや生き方」を参加者全員で考えました。

おきたま×みなと開港プロジェクト

令和元年度、住民同士の交流だけでなく、行政も交えた交流に発展しました。

住民、行政の垣根を超えた交流を深めることで、別地域の人とつながり、お互いの暮らしが豊かになる仕組みづくりを進めています。

県外への移動はなかなか難しいご時世ですが、お取り寄せグルメで置賜を味わってみませんか？

連携のきっかけ

芝地区で開催する人材育成講座「ご近所イノベータ養成講座」と、置賜広域行政事務組合が開催する地域づくり講座「人と地域をつなぐ事業」の受講生が、講座内で双方を行き来し、住民同士の交流が始まりました。

24Hトークカフェ開催!

交流をきっかけに、共同企画「24Hトークカフェ～山形県置賜地方を体験する24時間～」を、ご近所ラボ新橋@港区新橋にて平成30年(2018)に開催しました。これは、ユニークなまちづくりや

道の駅 上杉の城下町 米沢 オンラインショップ
<https://shop.michinoeki-yonezawa.jp>



HOT NEWS!!

10月25日(日)、港区と置賜の共催で「オンライン芋煮会」の開催を予定しています! ご自宅で山形名物の芋煮を作り、参加者同士で芋煮を味わいながら交流します。詳細は港区HPおよび芝支所SNSをご覧ください!

最後まで読んでいただき
「おしょうしな!」
 (山形の方言で「ありがとう」)

登記所備付地図作成作業のお知らせ

東京法務局では、下記作業実施地区において、公共基準点に基づく精度の高い地図(不動産登記法第14条第1項に定める地図)を作成します。地区内の土地の所有者様には、土地の境界確認の立会いなどにご理解とご協力をお願いします。

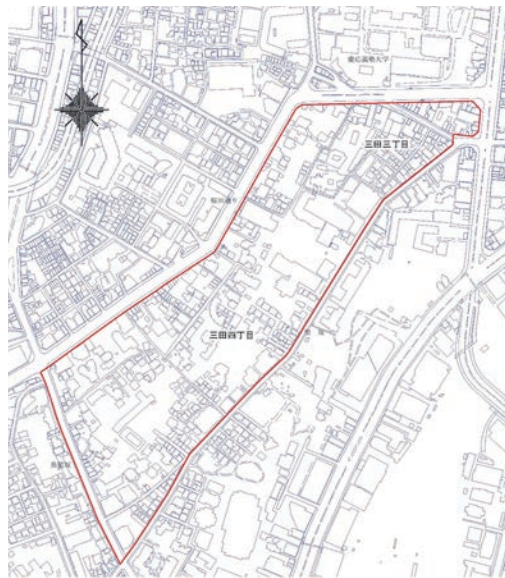
作業実施地区

三田三丁目、四丁目の一部地区

作業期間

令和2年9月から令和4年3月まで

詳細については、東京法務局ホームページをご覧ください。



〔測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 38〕

<http://houmukyoku.moj.go.jp/tokyo/>

問い合わせ先

東京法務局不動産登記部門地図整備室
 TEL 03-5213-1414 (直通)

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。ウォーキングマップとしてご活用ください。

芝地区MAP

1~20は旧町名由来板の設置場所

- 1 港区立みなと科学館 → P2
- 2 清水薬局 → P3
- 3 慶應義塾大学 → P4
- 4 株式会社日テレ7 → P4
- 5 芝の家 → P5
- 6 三田いきいきプラザ → P6
- 7 神明いきいきプラザ → P6
- 8 虎ノ門いきいきプラザ → P6
- 9 みなと障がい福祉事業団 → P7

買い物するなら地元の商店街で

●本誌の制作には以下の編集委員が参加しています
 伊藤早苗/菊池弓可/桑原庸嘉子/田岡恵美/千葉みな子/早川由紀/森明/森田友子/米沢恵美/米原剛(五十音順 敬称略)
 ●今後の発行スケジュールは次の通りです
 2020.12(第56号) 2021.3(第57号) 2021.6(第58号) 2021.9(第59号) ※各号発行月の20日ごろ

Going shopping? Visit our local shopping streets.

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1~3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設などで配布しています

港区芝地区総合支所協働推進課

〒105-8511 港区芝公園1丁目5番25号(港区役所1階)
 TEL03-3578-3192 FAX03-3578-3180

ホームページ

<http://www.city.minato.tokyo.jp/>